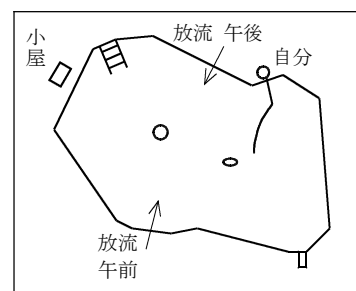


午前9時45分～午前11時45分 前半(2時間)
 午前11時45分～午後00時00分 昼食
 午後00時00分～午後5時30分 後半(5時間30分)

【料金】 男性午後 ¥4,300

【様子】

- 晴れ。ほとんど風は吹かなかった。概ね水面は鏡である。濁り有り。
- 日曜日なので、午前と午後の2回放流と餌撒きあり。



午前9時45分～午前11時45分 前半(2時間 18尾)

- 午前9時30分から放流のようだ。第1ポンドではすでに放流が始まっているとのこと。第1ポンドでもトラックからの放流だった。
- 急いで第2ポンドに行った。お客さんはかなり多い。かろうじて空いているところに入ったという感じ。午後からもっと人が増えるのかと思っていたが、それほど増えなかった。
- 放流用のトラックが来た。午前中は自分が入っている対岸側で、午後は自分が入っている側だとアナウンスがあった。
- 午前中の放流の割り当てはなしだった。
- 今日も水面をマスが泳いでいる。しかし、前回より活性が低い。思うように掛からなかった。
- 人が多いことが原因だと思われる。
- 表層ばかりで釣った。ボトムは試さなかった。宙層もほとんど試さなかった。
- 午後の料金で人が入ってくると考えて、0時までには昼食を取ってしまうことにした。コンビニで買ったサンドイッチとおにぎりを食べた。
- 午前中に18尾だった。やっぱり活性が低いな。

午後00時00分～午後5時30分 後半(5時間30分 23尾)

- 状況は変わらないが、だんだんと活性が下がっていくのが分かった。

放流タイム(3時30分)

- NOA 1.8g オレ金をセットした。放流とは関係ないところで2尾釣った。放流によって活性が上がったのだろうか。
- 4尾釣ったところで、掛かったマスがあばれて、リーダーがくしゃくしゃになった。それを直すのに少し手間取った。放流による活性タイムは終わっていた。

午後4時00分の赤金タイム

- PURE1.5g赤金を試した。反応なし。

餌撒きタイム(午後4時30分)

餌撒き

- 餌撒きで1尾釣ったが、いまいちは続かない。目の前ではあまり餌が撒かれなかったことも一因か。
- 最初はペンタ1gで釣る。釣れなくなったら遠くをねらうということで、ペンタ1.7gにするといいかんと思った。
- 終了時間までに40尾は難しいなと思っていた。38尾で終わった。

納竿 (5時30分)

- 「前は、PEラインをぎゅっと(少し強めに)引っばるとラインが出るくらいがよかった。これで、釣れてからのバレが減った。」と記録したが、今日はいつもの堅さにした。PEラインを軽く引けば出るくらいの締め方とした。これにより、バレが頻発したということはなかった。

- 掛かってから2～3尾ばれたときには鉤を交換した。これによって掛かるようになった。また、鉤を交換したところ当たりもなくなったということもあった。鉤を交換したのに当たっても掛からなかったということもあった。この場合は食い込みが悪かったのだろう。やっぱり、掛かっても2～3尾ばれるということがあれば、鉤を交換するのが良からう。
- ネットインする直前でばれるということが10尾以上あった。①ネットへの誘導の悪さ ②掛かりの浅さ ③ドラッグが前回よりも緩かった 何が原因かは不明。活性が前回より低かったのは事実であるが…。
- 「ティップの高さで泳層の深さを決める」とのことだが、やってみて①頭より上 ②頭 ③目 ④水平 ⑤腰 ⑥膝⑦水面 ⑧水中 の8段階ができるような気がした。
- モカとプチモカでは、ティップが同じ高さであっても泳層が異なる。リトリーブしてみて、もっと深い層か浅い層か、もっと速くか遅くかによってティップの高さを確かめるという感じだった。今やっている釣り方のティップの高さとリトリーブスピードを確認しながら、釣りたい。魚の反応を見て、次に活かす。
- もっと深い層なら、カウントして沈める。リトリーブスピードを速くするなら、ティップを上げることによって同じ泳層を泳がせることができる。
- 前回「ヒットしたからネットインするまで、竿先を下げるのではなく、水中に突っ込んだ方が、バレが減った。」とあったが、水中に突っ込んででもバレがあった。そういうことでネットイン直前のバレを防ぐことはできなかった。
- ルアーのすぐ後ろにマスがついたときは、少し速くスピードで撒き続ける」とヒットするというパターンができた。
- 今日はゆっくりリトリーブするより、いつもより速めのリトリーブの方が反応が良かった。
- モカとプチモカでは、モカの方が少し深いところを泳ぐ。
- モカを使って竿先を頭または頭の上にするによって、表層を速く泳がせることができた。これにより、マスを後ろにつかせたら、更に速く巻くことでヒットさせるというパターンができた。
- モカをゆっくり巻いてくると沈んでいく。ぎゅーと水面近くまで持ち上げて、再びリトリーブするとマスがよってきたり、ヒット(&ゲット)したりした。モカDRを使えばよかった。
- 釣れない時間が続いたときなど、何をしたら良いか分からなくなったときには、モカ・プチモカをステディリトリーブをした。これがよい。さわりに来たり、ゲットできたりして、この情報から次の展開を考えることができた。原点に立ち戻る、スタート時点に立ち戻るのがよい。
- 派手なカラーからスタートして、ルアーの泳ぎ、泳層、マスの反応を確認する。この情報から次を考える。
- モカ(SS)・プチモカ(SS)で、カウント15/10/5も使った。これでゲットした。フォール中にヒット(&ゲット)したこともあった。

【ヒットルアー】

- ・プチモカSR(SS) ミドビィーノ イルージョンペレット ミルクココア
- ・モカSR(SS) ミドビィーノ S.M6、 ミルクココア
- ・サーフェスエアブローF カモフラペレットオールスターズ トップウォーター
- ・ミッツ 透明 トップウォーター
- ・Nora Cra F 透明みどり 1尾
- ・ベッキー 0.6g 白ウサギ 2尾
- ・NOA 1.8g オレ金 4尾 午後の放流
- ・ペンタ1.7g 薄茶 1尾 餌撒き

【ロスト】

- ミッツ 透明 マスが食った瞬間にスナップのところで切れた。